

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2021年3月19日（金）11時40分～13時00分

場所： 日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席代議員：鈴木、深川、谷本、犬塚、榎戸、野村、松下、土居、井岡、北山、縣、横山、百瀬、大内、梅村、一本、河野、鶴、長田、郷田、須藤、相川、奥村、大須賀、太田、浅井、大向、秋山、大朝、津村、吉田、米徳、藤沢、江草、生田、福江、赤堀、柏川、細川、今井、山崎（事情により遅れて参加した深川代議員、百瀬代議員、吉田代議員を除いて以上38名、委任状1名）

欠席代議員：坪井、本間

大石監事、田村副会長、馬場副会長、伊王野庶務理事、鹿野会計理事、早野会計理事、佐藤事務長、黒岩・田口谷事務長補佐が出席した。梅村会長、鈴木庶務理事は代議員を兼任している。馬場副会長は事情により遅れて参加した。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が38名（最終的に41名）で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：梅村雅之

署名人：梅村雅之

II. 議題

II-1. 次期推薦委員会の委員候補について（鈴木、資料3）

次期推薦委員会の委員候補6名（勝川行雄氏（国立天文台）、松本浩典氏（大阪大学）、須佐元氏（甲南大学）、高桑繁久氏（鹿児島大）、中道晶香氏（京都産業大学）、和田武彦氏（JAXA 宇宙研））が提示され、賛成多数で承認された。

II-2. 有期雇用契約の職に就く正会員と学生正会員の2021年度会費免除について（資料4、鹿野）

新型コロナウイルス感染症の蔓延継続により、学生会員の経済的困窮の懸念とともに、有期雇用契約の職（いわゆる“ポストク”）に就く正会員の研究活動に対する懸念と将来のキャリアパスに対する懸念は、未だ拭えない。そこで、これらの会員に対する2021年度会費免除を、2020年度と同様な条件と手続きにて実施することが提案され、賛成多数で承認された。

II-3. その他

2021年1月11日に開催された代議員総会において、「日本天文学会が日本学術会議会員非任命問題に対する単独声明を発出する」ことに対する採決を行った際の手続きが曖昧であった点が指摘された。以下の質問と指摘に関しては、事前の3名の代議員からメールにより文書が代議員内で回覧されている。そのうちの須藤代議員から回覧された文書は、本議事録の最後に付議する。

(1) 採決結果は確定しているが、代議員の過半数の賛成により「代議員の議決の3分の2以上を声明発出の条件」とした今回の手続きが法的に正しいかどうかは自明ではないとの指摘があった。これを踏まえ、今後の同様の声明や提言の発出を念頭に、日本天文学会の定款・細則・内規を見直す、もしくはガイドラインを定めることが提案され、これから検討を開始し次期理事会へも引き継ぐこととした。

(2) 採決の際の委任状の扱いを明確にすべきとの意見があった。具体的には、通常の対面形式の代議員総会では挙手による賛否表明のため各代議員の意向が代議員間で共有され委任先も明確であったが、オンライン形式では不明瞭となり問題であるとの指摘である。これを踏まえて「日本天文学会が単独声明を発出する」ことに対する採決について、委任状を託された代議員の可否を取り込んだ場合の最終票数を代議員内で共有することとした。

3月18日の会員全体集会において、声明発出の否決に至るまでの経緯の会長による説明に不正確な部分と誤解を招く部分があったという指摘があった。声明WGのミッションは声明を発出する場合の声明文案の作成であったが、声明を発出するか否かの議論まで主導したかのような説明となっていたのは間違いである(この点はWGメンバーからの指摘により会員全体集会中に訂正された)。また、WGが作成した声明文案を日本天文学会から発出する提案は1月の代議員総会で否決されたが、会長談話や会長メッセージ等の形で発出する可能性は依然として残っている。会員全体集会では会員から今後の声明発出や天文学会が行った議論を公開する可能性について質問があり、それに対して会長は肯定的な返答をしたようであり、会長自身が今後の会長談話等の発出にも前向きだと解釈したとの意見があった。これに対して会長からは、これまでの代議員総会・懇談会で、一般論として会長談話などの形式での声明の発表の可能性もあるという意見を述べてきたことを伝えただけであり、誤解を招いたかもしれないが、会長談話の発出を検討するつもりはないことを意図する旨の返答があった。

以上の議論を受けて、会長は全体集会において今回の結論に至る経緯だけを述べるのではなく、それに至った代議員総会における議論まで含めて、その結論が納得してもらえるように丁寧に会員に説明するべきではなかったか、との指摘があった。

III. 報告

III-1. 理事会(2021年3月15日)の報告(鈴木)

2021年3月15日に開催された理事会の報告がされた。

III-2. キャリア支援若手委員候補について(資料5、鈴木)

キャリア支援若手委員候補として、佐野圭氏(九州工業大学)、近藤寛人氏(名古屋大学D1)が理事会で承認されたことが報告された。

III-3. 共同利用・共同研究拠点申請における要望書依頼について(資料5、梅村)

各大学に設定されている共同利用・共同研究拠点を提案・継続できないかという依頼が天文学会にあった。2021年2月1日の実務理事会でこのことについて審議し、天文学会に依頼された要望書の提出には対応しないこととしたことが報告された。

III-3. 次期各委員会の委員候補について(鈴木、資料6)

次期委員の候補が報告された。

III-4. 日本学術会議 天文学・宇宙物理学分科会報告・IAU報告(浅井)

天文学・宇宙物理学分科会およびIAU分科会の活動報告があった。2月に分科会が開催され、3月にマスタープラン2023に向けてのオンライン説明会を開催した。4月末にLoI締め切りを予定している。春季年会の特別セッションを開催し、350名超の参加者があった。また、今期はウェブサイトやメーリングリストを通してコミュニティへ積極的に情報発信している。IAU分科会においては、会員推薦、シンポジウム・総会の状況、APRIM2023の日本誘致、IAU総会の日本誘致など、について議論したことが報告された。

III-5. その他

- (1) Tennet アーカイブは学部生などの非会員への有益な情報源となっているため、一般への再公開の重要性が指摘され、そのスケジュールの目処についての質問があった。これに対して、モラルハラスメントと取られかねない内容の tennet への送信があったため、会長判断で暫定的に会員限定公開としたが、これまでのような非会員への再公開に関して理事会で検討することとした。
- (2) 現在保留となっているメガコンステレーションに対する声明の発出についての質問があった。COVID-19 の感染拡大防止への応用など社会にも貢献する可能性があるため、引き続き、意見を出すタイミングを検討していることが確認された。
- (3) 一般論として、内閣府が日本天文学会定款に基づき声明に発出の可否に関する法解釈を行うことがあるのかと質問がなされた。質問者からは、内閣府には対応窓口があるので確認することが可能であるとの補足説明があった。これに対して、前回の安全保障に関する声明の経験もあり声明の発出自体は問題無いはずであるが、声明発出の際に代議員総会の特別決議(3分の2の賛同が必要)を用いたこと(内閣府としては問題無しとの見解)が、法務省の見解として間違いであったとされる場合は、問題となるとの回答があった。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠席表

資料 2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録案

資料 3 次期推薦委員会の委員候補について

資料 4 有期雇用契約の職（いわゆる“ポスドク”）に就く正会員と学生正会員の 2021 年度会費免除について

資料 5 キャリア支援若手委員候補（2021 年 6 月から 2 年間）、共同利用・共同研究拠点申請における要望書依頼について

資料 6 2020 年度（2021 年 6 月）決算承認時—2022 年度（2023 年 6 月）決算承認時委員候補者リスト

[須藤代議員から事前に代議員に回覧された文書]

以下の 3 点に関する会長のお考えを簡潔かつ明確にお伺いし、必要に応じて次期山本会長にも引き継ぎをお願いしたいと思います。鈴木さんから送られた議事次第を拝見すると、最初の議題の最後のその他のあたりで議論していただければよいかと思えます。

1) 1 月 11 日の代議員総会での結論は当然ながら確定である。しかし、それに至る手続きは必ずしも正しくなかったかもしれない。あくまで今後の声明発出などを念頭に、その手続きについて、榎戸さんの丁寧な文書を参考にしながら、内規を作成・改訂すべきと思うが、いかが？その場合、山本会長は状況がよく理解されていない可能性が高いので、現会長が中心となって改訂案を作成されるのが効率的であると考えます。

2) 百瀬さんが提起された委任状の取り扱いについて、どうすべきかは別として、それを考慮した場合、前回の採決の票数はどうなっていたのかは明確にしておくべきであると考えます。従来の対面会議の際は、

挙手を行っていたわけなので、誰が何に投票したかは互いにわかることが前提であった。その意味では、委任状を託された人の可否を取り込んだ場合に、最終票数がどうなっていたかを我々が理解しておくことは（そちらに変更せよというつもりではない）重要な責任だと思う。それと同時に、委任状をどう扱うかは、今後の zoom 会議を念頭に置くと大切な確認事項である。

3) 井上さん及び海老沢さんからの質問にもあったように、昨日の会員全体集会では、代議員総会における議論の経緯は説明したものの、声明の中身に関してどのような議論がなされその結果として何が否決されたのかがまったくわからないという意見を聞いた。私も代議員総会にでていなければまったく同じ感想をもったと思う。さらに、会長は「会長談話も含めて何らかの対応をしたいと考えたが、代議員総会での議論の結果それを断念した」ような説明をしたように感じたが、それは私の誤解であろうか。海老沢さんの質問にもそのような個人的意見を述べられたように思うが、それはこの件に関する代議員総会での会長の意思を適切に説明したものであったのか？その件について私はかなり混乱してしまったので、改めて確認させていただければ幸いである。会長は選挙で選ばれており、代議員総会での議論を効率的にすすめるためにも、イニシアティブを取られることは当然であり、もちろんそれは尊重したい。一方、今回の件については必ずしもそれが明確でなかった印象がある。

以上

2021年3月19日

議長・署名人：梅村雅之 印